

令和7年度  
『佐渡の医療福祉の将来を考える』

# 目次

1. 介護老人保健施設 相川愛広苑の紹介
2. 介護老人保健施設（老健）の概要
3. 施設運営の課題

# 介護老人保健施設 相川愛広苑

開設 1999年9月



# 介護老人保健施設 相川愛広苑

介護老人保健施設  
(老健)

短期入所  
(ショートステイ)

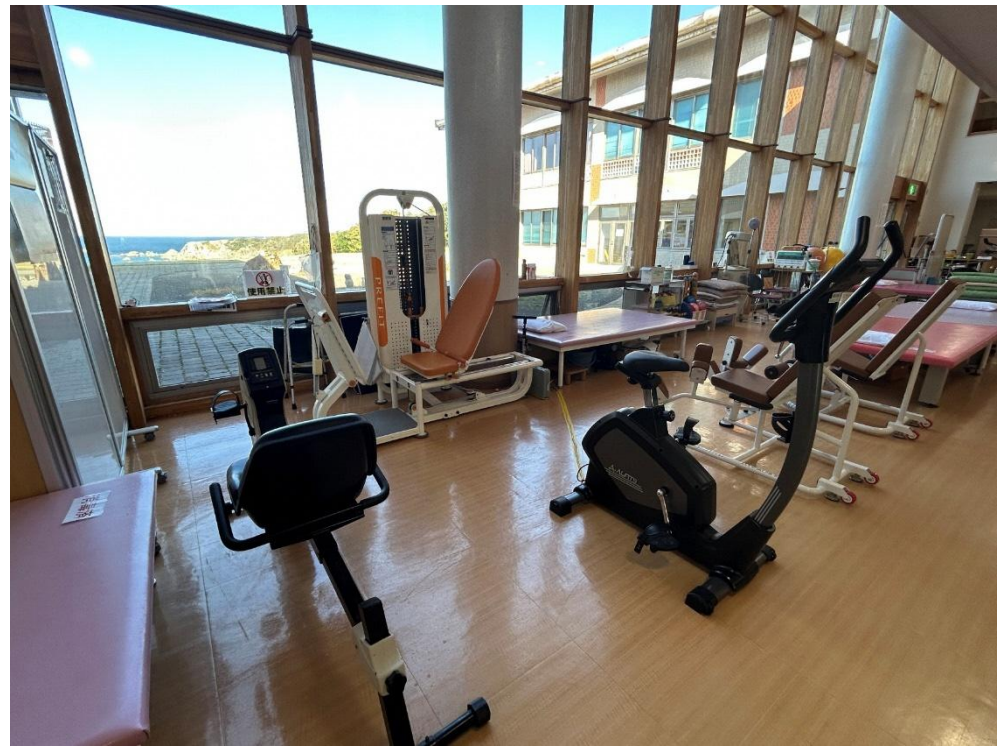
通所  
リハビリテーション

訪問  
リハビリテーション

# 介護老人保健施設 相川愛広苑

- 職員数 93名  
医師 2 看護 15 介護 50 リハビリ 12 管理栄養士 1 . . .
- 入所定員：150床 年間平均 147床/日をご利用
- 通所定員：35名 月～金曜日 年間平均利用者数28名/日  
送迎エリア 金泉～二見 沢根～佐和田・八幡
- 訪問リハビリ：月平均350件のご利用。  
エリア 金泉～国仲～両津あたりまで

# リハビリ室



# 浴室



談話室



理美容室



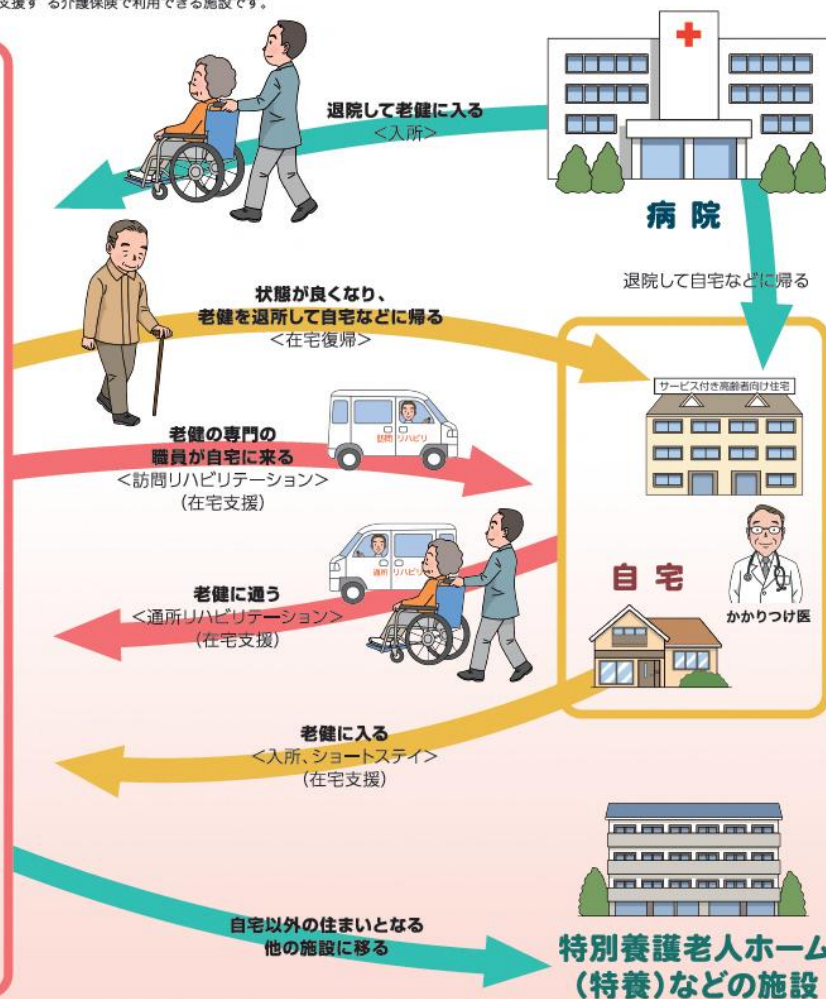
正面玄関

# 老健ってどういう施設だろう？

**老健とは** 老健は、医療、看護、介護からリハビリテーションまで、さらには、栄養管理などのサービスを提供して、障害のある方や高齢の方など、利用者本人・ご家族が安心した在宅生活を続けられるよう支援する介護保険で利用できる施設です。



さまざまな専門知識・技術を持った施設スタッフや協力スタッフが  
チームで利用者さんの生活を支えます



「“老健”って何？」  
社会保険研究所より出典

# 老健はいろいろな使い方ができる!

**老健のいろいろな使い方** 老健には、お住まいの地域で暮らし続けるための、さまざまなサポート体制が整っています。ひとりひとりの生活に合わせたサポートを行いますので、ぜひ老健を活用してください。

入所して認知症の集中的なリハビリテーションを受ける

自宅から老健の通所リハビリテーション(デイケア)に通う

※デイケアとデイサービスは異なるサービスです。デイケアは、医師・リハビリテーション専門職が関与し、リハビリテーションを提供するサービスです。

自宅から老健の訪問リハビリテーションを受ける

病院から老健へ入所し、リハビリテーションを受けてから自宅に戻る

退院 復帰

老健

状態を見ながら、必要な期間、継続して入所する

寒くて体調を崩しやすい冬場だけ入所する

特養の入居待ちの間、老健に入所する

※老健は、65歳以上の要介護認定(要介護1~5)を受けた方で、病状が安定していて入院治療の必要がなく、リハビリテーションを必要とされる方が利用できます。  
※お住まいの地域の老健によっては対応が難しいケースもあるため、ご利用を検討される際には一度ご相談ください。

介護をする家族が、介護に疲れた際に、ショートステイを利用する

老健で最期の時を過ごす

1か月以上の入所や短い期間の入所(ショートステイ)、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションなどのサービスを、すべて提供できるのは老健だけです。

「老健」って何?  
社会保険研究所より出典

# 老健で提供されるサービスってどのようなもの？

「できること」を多くするためのサービス

老健は、利用者さんの「今できること」を少しでも多くする施設です。たとえ今はできないことでも、「こうすればできるのではないか」という視点からいろいろな職員が工夫し、できることを増やすことで、より良い暮らしになることを目指します。

## 今できること



## 老健で行われるリハビリテーション

老健で提供されるリハビリテーションは、さまざまな職種がチームで行う「生活期のリハビリテーション」と「専門職が提供するリハビリテーション」の2種類に分けられます。

### 生活期のリハビリテーション

老健では、医師やリハビリテーション専門職の指導のもと、お風呂やお食事、トイレの場面など、生活のなかのすべての動作を、よりできるようにするための訓練として行うものです。職員は、時には手を出さずに見守り、利用者さんが自分でできそうなことはできるだけ自分で行えるよう手助けして、少しでもできることを増やしていきます。

移動



入浴

### 専門の職員が提供するリハビリテーション

専門的な知識と技術を持った職員によるさまざまなリハビリテーションプログラムが行われます。

#### 認知症の方に対して 短い期間に集中して行う リハビリテーション



#### 短い期間、集中的にからだの機能を 上げるためのリハビリテーション



## 老健で受けることのできる医療

毎日服用しているお薬の調整、老健の医師や看護職員による発熱、腹痛、風邪などの対応もできます。さらにお看取りが可能な施設もあります。



## 工夫すれば できること



「“老健”って何？」  
社会保険研究所より出典

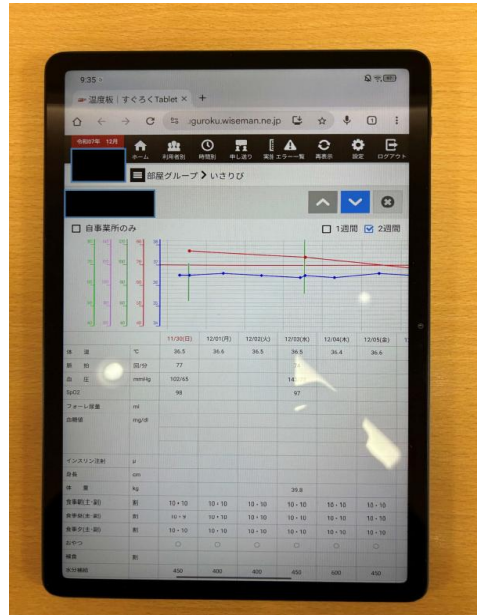
# 課題1：働き手不足を前提として、生産性の向上を図る

- ICT機器の活用 → 記録作成アプリや下記のような機器導入

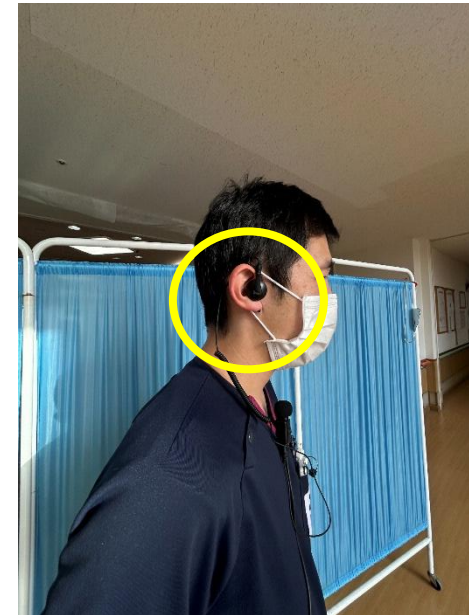
センサーマット



タブレット端末での記録



インカム



# 課題1：働き手不足を前提として、生産性の向上を図る

- ・介護職ではない職員（介護補助者）の採用  
→ 専門職である介護福祉士がご利用者のケアにより多くの時間を割くことができる。

介護補助者業務内容・・・食事の下膳、食後テーブル拭き  
掃除、物品補充等

## 課題2：医療・関係機関との連携

- 施設、病院、居宅関係機関との情報共有
  - 佐渡ヘルスケアナビ「りんくる」等の活用
  - ご利用者への説明、同意を得て登録者の増加
- その他、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への理解
  - ご利用者、ご家族の意向を確認、今後について共有

## 課題3：運営に必要な費用の増加

- 医療材料や水道光熱費等の物価高騰、設備の劣化に伴う修繕費

→ 補助金の活用

介護報酬の改定に期待・・・

ご清聴ありがとうございました

